



令和2年8月
みのり保育園

園庭の木々から、会話もできないほどのセミの声が聞こえ始めました。セミの鳴き声が暑さをいっそう増幅しているようです。市内でもコロナ警報が発令されコロナの感染は日々拡大していますが、園では感染予防を心がけ、園舎内やおもちゃの消毒を行っております。

8月の保健行事

身体測定の日

- 1・2歳児 【3日】
- 3歳児 【4日】
- 4歳児 【5日】
- 0・5歳児 【6日】

7月の感染症と疾病状況

1歳児クラス	[突発性発疹]	1名]
3歳児クラス	[溶連菌感染症]	1名]
4歳児クラス	[溶連菌感染症]	1名]

7月は、溶連菌感染症の罹患児が2名いました。他には、風邪という診断での欠席が数名、高熱ではないが鼻水を伴う症状の子が大半でした。鼻は、耳や喉とつながっているため、鼻の症状を放置しておくと、中耳炎や喉の炎症など他の器官に症状が広がることもありますので、早めの受診をお勧めします。基本的には風邪はウイルス感染症ですので特効薬はなく対処療法としてお薬が出ますが、風邪を治すためには、まずは安静と栄養が必要です。特に発熱があった場合は、解熱後も24時間はご家庭で過ごしゆっくりと休ませてください

先月行われた内科健診・歯科健診結果については、囑託医からご指摘がありましたお子さんには、保護者の方に看護師から直接お伝えしております。

手洗って本当に大事ね

基本的な感染症対策は、接触感染を予防するために流水と石鹸で手洗いをする事です。その習慣が子どもたちだけではなく、保護者の皆様にも定着してきていると毎朝の手洗い場の光景を見て実感しています。そこで、さらなる感染予防対策強化のために、手順通りを行い、洗い残しが無いように意識してできるようにとたくさんの保護者の方々にお声掛けをいたしました。登園時、降園時、保育参加時などに看護師と一緒に手洗い確認に皆さん快く応じてくださいました。手洗チェッカーでは、専用ローションを手に付いた汚れに見立て、ブラックライト下で光らせます。洗い残しがあると白く光るため、適切な手洗いが実施できているか確認できるという方法で行いました。白く残った洗い残しを見て、自己流の手洗いでは全然汚れは落ちてないことが分かり「これからは子どもにも手順通りの手洗いは、ちゃんと手の汚れが落ちるということを教えることができます。」と早速翌日の朝の手洗いでは、「指の間が抜けているよ」と子どもたちに声をかけている姿が見られました。

保育園とご家庭の両方で同じように実施していくことで感染症の発生リスク軽減につながっていきやすいようにしていきたいと思っています。皆さんが積極的に行っていただけますよう働きかけていきます。保護者の皆さん一緒にチェッカーで確認してみましょう。

